

# みんなの安心・安全のために



# “地域防災に強いまちづくり”をしましょう!

阪神淡路大震災以後、国内外で自然災害が多発しました。丸亀でも、平成16年の台風での被災経験は記憶に新しいところです。多くの教訓を、まだ備えられる今のうちに活かしたいものです。

防災の分野は“男の仕事”と思われがちですが、本当にそうでしょうか。地域における防災・減災の重要な担い手は女性であることを忘れてはなりません。災害の発生が日中の場合、地域や家庭で過ごすことの多い女性や高齢者が果たすべき役割は大きいのです。さらに、被災直後の緊急支援の段階だけでなく、その後の長い復興過程にも、災害弱者といわれる女性や子ども・高齢者などに配慮した対策が必要です。

防災・減災について重要な方針や政策を決定する過程への女性の参画が求められているにもかかわらず、現状ではなかなか進んでいません。家庭や地域での自主防災への期待が大きい今こそ、老若男女が協力して防災のために今できることを実行し、全ての市民が安心して安全に暮らせる“災害に強いまちづくり”に男女共同参画を取り入れましょう。

## 国の第2次男女共同参画基本計画（平成17年12月改定）

防災（災害復興を含む）は、男女共同参画を推進すべき重要事項であり、新たな取り組みを必要とする分野です。男女共同参画の視点を取り入れた防災（災害復興）体制を確立するため、「防災分野における女性の参画の拡大」や「防災の現場における男女共同参画」について、地方自治体や地域コミュニティの取り組みを掲げています。

## 国の防災基本計画（平成20年2月修正）

「男女双方の視点に配慮した防災を進めるため、防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する必要がある」との項目が追加されました。

## 丸亀市地域防災計画

丸亀市では、丸亀市地域防災計画を策定し、国の基本計画に沿った男女共同参画の視点での防災体制づくりに努めています。

## 防災における丸亀市の男女共同参画

女性消防吏員の働く環境を整えた新庁舎を建設中です。今後は、女性の消防吏員が増えるだけでなく事務職の女性増も期待したいものです。

丸亀市における防災の施策を決定する丸亀市防災会議は、昨年度まで男性だけで構成されていましたが、初めて女性の参画が実現しました。家事や育児・介護など生活者としての経験を生かし、男性では見落としがちな災害弱者と言われる女性や子ども・高齢者・障がい者などへの視点を補い、私たち丸亀市民の安心安全の具体策につながると確信します。

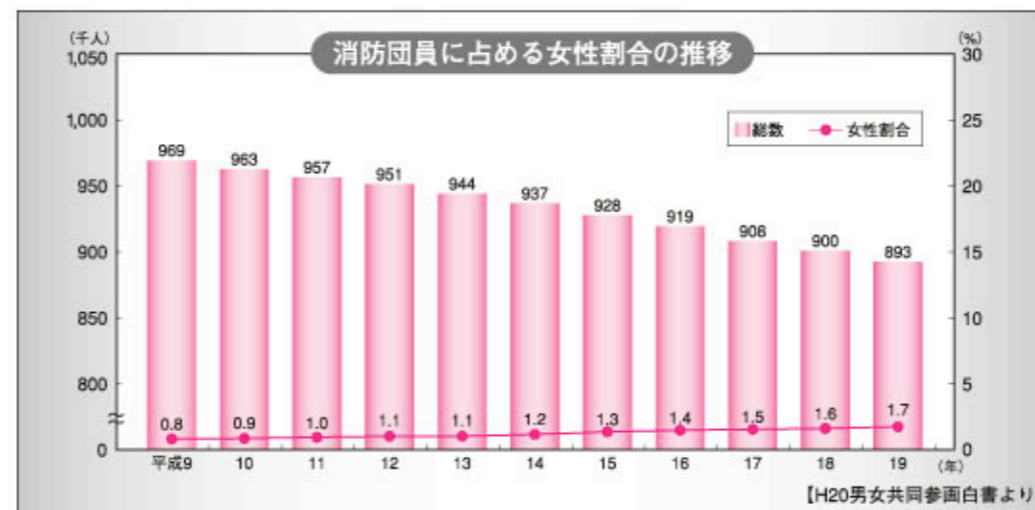
## 地域の防災活動

### 女性消防団

9月27日、丸亀市初の女性消防団員19名の入団式が行われました。消防本部が女性団員の活動をサポートするために行ったアンケート調査では、7割以上の団員が応急手当や災害現場などでの活動を希望しており、予防啓発などの広報活動だけでなく訓練を積んで地域を守りたいと意欲的です。消防本部でも女性団員の増員が地域の防災力アップにつながると期待しています。

女性消防団が組織されたことで、男女のニーズの違いに配慮する体制ができつつあり、女性の力を発揮できる防災対策への視点が広がっています。

URL <http://www.marugame-fd.org/>



消防団/消火活動、地震や風水害など大規模災害時の救助・救出・警戒・巡視・避難誘導・災害防御にあたる。平常時の訓練・住民への啓発・広報活動・防火指導・特別警戒などの役割を担う非常備消防機関。団員数/全国に約90万人

## 自主防災組織/川西コミュニティ 防災部

平成19年に「第11回防災まちづくり大賞 消防科学総合センター理事長賞」も受賞した川西コミュニティの自主防災への取り組みのパワーを探ってきた。

その日は、南中学校や県の防災訓練などについての打ち合わせ。コミュニティセンターでの会議に参加しているメンバーの約半数が女性で、親子孫3世代参加の人もいます。素晴らしい地域力を実感した。



防災用具(チェーンブロック・担架・土のう用袋・ヘルメットなど)を準備。災害時に地域全域をカバーする無線を導入。防災クイズや起震車による体験、救命救護法の講習、避難生活を想定した大釜を使ったもたき会など、地域イベントに訓練を組み合わせて楽しく防災を学んでいる。



## 丸亀市婦人防火クラブ

昭和28年12月、全国でも2～3番目に組織された丸亀市婦人防火クラブは、婦人会が母体となって、県下でもいち早く防災の大切さを家庭や地域に根付かせる活動に取り組んできました。現在の会員数は1万人余り。出初め式・操法大会・防災訓練・救命救護の講習会など実践にそくした訓練や防災啓発活動に取り組んでいます。女性が地域防災のリーダー・調整役として力を発揮しています。

「いくら準備をしていても火事が起こることはあります。いざという時にあわててしまいがちです。火がつかないようには、鍋を素手で持つと大やけどをすることがあります。消防車を呼ぶために電話したのに、現場に到着するまで説明できない場合があります。丸亀市婦人防火クラブで初期消火の大切さを学んでいただきます。顔見知りの方でもありません。火事の際の避難など手助けをすることもできました。」



会長 遠山マツエさん